

新型コロナウイルス感染症対策下における子ども虐待防止に資する  
助成事業報告書(HP掲載用)

|      |   |
|------|---|
| 団体名  | 特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN(キャップセンター・ジャパン) |
| 事業名  | Web で広げる子どもにやさしいまちづくり Action            |
| 活動期間 | 2020 年 4 月 13 日～2020 年 12 月 12 日        |

|      |   |
|------|---|
| 実施内容 | <p><b>1. 動画制作(6 本)と配信による情報提供</b><br/>日本で CAP(子どもへの暴力防止)プログラムを 25 年間、学校・施設・地域で提供してきた経験や知見をもとに、子ども、保護者、学校の先生方、市民(子どもの支援者)にメッセージを届けるため、4 月から 7 月にかけて 6 本の動画を制作し、Youtube で配信した。さらに団体のホームページに「コロナ禍だからこそ、すべての子どもが“安心・自信・自由”に！」というページを作成し、動画配信をまとめ、各動画の内容を紙媒体でもダウンロードを可能にして、利用者(受益者)の様々な環境に対応できるようにした。</p> <p>① 「18 歳までの子どものみなさんへ “安心・自信・自由”で自分を守ろう」<br/>② 「子どもが身近にいるおとなのみなさんへー新型コロナウィル禍から自分を守る・子どもを守るー」<br/>③ 「18 歳までの子どものみなさんへー学校が始まりました」<br/>④ 「子どもと暮らす保護者のみなさんへー学校が始まりました」<br/>⑤ 「教職員の皆さんへ 子どもが安心して学べる学校生活にむけて」<br/>⑥ 「私たち市民にできることー一緒に子どもの安心・安全な生活のための予防に取り組みましょう！」</p> <p><b>2. ZOOM によるオンラインセミナーの開催(4 回)</b><br/>① 「殴りたいわけじゃない、怒鳴りたいわけじゃないー体罰禁止が追いつめることにならないようにー」実施日:6月 27 日 講師:杉山春さん(フリーライター)<br/>2019 年 6 月の児童虐待防止法改正の契機となった目黒区、野田市で起こった子ども虐待死亡事件の傍聴を通して体罰・虐待をする親の背景を語っていただいた。<br/>② 「子どもがコロナ時代を安心・安全に生き抜くヒント-CAP の視点から-」<br/>実施日 11 月 10 日・11 月 21 日・12 月 12 日 講師:CAP センター・JAPAN<br/>コロナ禍の子どもとの日々に不安やモヤモヤを抱えるおとなを対象に、CAP の視点から不安を安心に変え、虐待を含む子どもへの不適切な関わりの未然防止・発生防止を図るため、日々の暮らしのヒントをお伝えした。</p> |
| 成果   | <p><b>1. 動画制作と配信による情報提供</b><br/>コロナウイルスの集団感染の発生は、戦争・テロ・自然災害と同様に心とからだのバランスを崩しやすい。人と関わりをもつ機会が減ることで孤立しやすくなり、不安・怖れ・無力感と孤立は、虐待(暴力)が起きやすい環境を作っていく。その防止のために、おとなも子どもも、困難な状況下であっても少しでも安心な気持ちで安全に過ごせるよう動画を配信した結果、12 月までに 3,321 回視聴していただいた。視聴された子ども支援団体や小学校、教育委員会から、「コロナ禍での支援のリソースとしてホームページで紹介したい、データをダウンロードして配布したい」といった問い合わせがあり、ネットを活用される以外の方にも、情報を手渡すことができた。<br/>その後、講師の許可を得て、講演会内容(一部加筆・修正)を 11 月に講演録として発行(助成事業対象外)。さらに虐待・暴力のない、みんなで子どもの育ちを支える社会づくりを考える機会の提供を広げることができたものと考えている。</p> <p><b>2. オンラインセミナーの開催</b><br/>① 「殴りたいわけじゃない、怒鳴りたいわけじゃないー体罰禁止が追いつめることにならないようにー」<br/>70 人参加。講演のほか、チャットを利用した質疑応答の時間を十分とって、虐待・暴力のない、つながってみんなで子どもの育ちを支える社会づくりを考える機会とした。<br/>② 「子どもがコロナ時代を安心・安全に生き抜くヒント-CAP の視点から-」</p>   |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>全3回で合計 32 人参加。パワーポイントで見える化した資料を共有しながら、途中、参加者に問いかけや質問をしながら、できるだけ参加型の講義を行い、その後、質疑応答の時間、終了後は放課後タイムをとり、希望者が自由に交流できる時間を設けた。</p> <p>アンケート回答：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの満足度「たいへん満足した・満足した」88.8%</li> <li>・セミナーの内容の理解度「たいへん理解できた・理解できた」94.4%</li> </ul> <p>感想：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で重要なポイントを伝えてもらい、頭にも心にも残りやすかった。</li> <li>・コロナ禍だからこそ、「一人で頑張らなくていい！」「助けてもらう姿を見せることが重要だ」という言葉が一層響くと感じた。</li> <li>・人権ベースで子どもたちを支えるということなのかなと思っていたので、知れて良かった。</li> <li>・不安、怖れ、絶望という気持ちを「安心」に変えるために、行動の選択肢がたくさんあるという考え方に繋げられることを知っておくこと、そして繋げてきたことを自信にしたいと思った。</li> </ul> |
| <p>写真</p>  | <p>動画画面(一部表示)</p> <p>「18歳までの子どものみなさんへ “安心・自信・自由”で自分を守ろう」抜粋</p>  <p>「私たち市民にできることと一緒に子どもの安心・安全な生活のための予防に取り組みましょう！」抜粋</p>  <p>講演録を CCJ ブックレット④として発行</p>   |
| <p>リンク</p> | <p>団体ホームページ <a href="http://cap-j.net/">http://cap-j.net/</a><br/> 特設ページ <a href="http://cap-j.net/save-child/2020video">http://cap-j.net/save-child/2020video</a></p>   |